

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」熊谷校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	0	簡易的な粗大運動ができるスペースの確保はできている。
	②	職員の配置数は適切であるか	0	2	2	1月から指導員2名体制になる為、募集をかけていただき出来るだけ早めに体制を整えていきたいと考えている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	2	2	パーテーションや机の配置については児童によって変更している。パーテーションを使い支援ブースを分けることで児童が区別しやすいようにしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	0	話し合いの場を多く持ったり、モニタリング後に全体周知をすることで情報の共有を図っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1	1	1年に1回アンケートを実施したり、普段から保護者の方が話しやすいような環境を設定することで意向について把握できるよう努めている。業務改善についてもすべてではないができる限り対応したいと考えている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	0	教室内にファイルに綴じ、保護者の方がいつでも見られるように設置している。ホームページにも公開を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	定期的な外部監査を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	0	Web研修に参加したり職員から希望が出た研修については業務に支障がない程度にできる限り受けられるよう対応している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	最低でも6ヶ月に1回はモニタリングを行い保護者や指導員から話を聞くようにしている。必要に応じていつでも更新できる体制を整えている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	0	アセスメントシートを活用し取り組んでいる。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	0	個人での立案になるが全体で共有し話し合いを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	保護者の話や支援の様子で次の活動プログラムを決めているため固定化しない工夫はされている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1	0	児童の様子でその日の支援の調整を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	基本的には個別での対応になっているが、集団も定期的に行っているためその時の様子なども反映している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	支援の振り返りを必ず行っている。役割についても朝礼時に確認を行っている。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	0	次の支援が行われる前までに必ず振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	毎回支援記録をつけ全体で共有している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	最低でも6回月に1回、必要に応じてその都度計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	0	1	必要とされるニーズに沿って作成を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	できる限り一番理解している職員が参加するように努めている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	0	3	1	学校と直接連携をとる機会はないが、相談支援事業所を通して情報の共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	4	該当児童なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	2	2	相談支援事業所を通しての対応を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	4	対象児童なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	0	研修にはできるだけ参加するように努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	事業所外の児童と関わる機会は現在行っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	0	協議会等への参加についてはできる限り参加できるように努めている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	支援後にフィードバックを行ったり、モニタリングの際に様子をうかがうことで共通理解に努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	0	ペアレント・プログラムについては予定は立てていたが実施することはできなかった。5月～7月にペアレントプログラムは実施する。
保護者への説明	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約の際に説明を行い、保護者から質問があった際にも適宜対応を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0	フィードバックの時におこなっている。その他にも保護者より相談があった際にはその都度対応を行っている。

責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	2	父母の会への支援はおこなえていないが、教室内ではママカフェを年に数回開催している。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	教室内で担当や責任者を設定し、契約時に説明を行っている。教室外でも相談できる場所を重要事項説明書内に記載し説明を行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	1	2	チラシの作成や、行事の後にはブログにて発信をしている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	鍵のかかるロッカーに保管し対応している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	その子にあった伝え方に配慮をしたり、確認を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	4	地域住民の参加は行っていない。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	0	マニュアルの作成は行っているが、保護者への周知についてはおこなえていない。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	月に1回防災訓練を行い、緊急時にも対応できるように備えている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	研修に参加したり、参加した職員から教室内へ周知を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	0	現在身体拘束を行う対象児童はいないためサービス計画書に記載は行っていないが、必要になった際には対応を行う。身体拘束マニュアルについては策定している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	0	4	食事提供は行っていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	ファイルを作成し事業所内での共有を行っている。ヒヤリハットあが発生した際には話し合いを行い再発防止に努めている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名： 子どもサポート教室「きらり」熊谷校

保護者等数（児童数）： 41 回収数： 24 割合： 58 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	10	0	やや狭い。 →限りあるスペースの中での提供になりますので、その中で療育に集中できる適切な環境を提供させていただきように努めています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	9	3	事務所はカーテンではなくもう少ししっかりと仕切られていたほうが良いと思う。 →お子さまの様子に合わせてパーテーションを使用したりさせていただきたいと思えます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	23	1	0	
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	21	3	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	9	10	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	2	0	希望通りの支援を受けることができている。 →そう言っていただけるととてもありがたいです。今後もより良い療育ができるよう努めていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	4	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	12	4	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	10	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	3	0	

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	15	1	どちらともいえないという回答が多く見られましたが、イベントを実施した際にはホームページの様子を乗せさせていただいたり、自己評価についてもホームページや教室内の本棚にファイルに綴じて設置してあります。その旨の周知が足りなかったようでご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんでした。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	3	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	5	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	11	2	どちらともいえないという回答が多く見られました。防災訓練については定期的に行っていますが、職員間で行うものや児童も一緒に行うものも実施いたしております。掲示については入り口入ってすぐ右の掲示物の中に掲示させていただいております。今後はもっとわかりやすい場所を検討し対応させていただければと思います。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18	5	1	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	22	2	0	こどもが持っているぬいぐるみの名前を一つ一つ把握してくれていた李、お気に入りのキャラクターを教材として使ってくださいたり、すぐく親身に対応していただき毎回感謝しています。→ありがとうございます。今後も満足していただけるよう取り組んでまいります。満足はしているが、駐車場などの充実をしてほしい。→駐車場については商店街の駐車場を利用させていただき日によっては駐車できない日もございますが、「きらり」専用の駐車場もございますのでそちらの方もご利用いただければと思います。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。